



「農業高校の甲子園」中止で

農林水産大臣から激励状

言がありました。

「農業高校の甲子園」と呼ばれる「日本学校農業クラブ全国大会」は、全国の農業高校生が農業に関する知識・技術の成果と実力を競い合う大会です。本大会は、昭和25年から毎年開催されてきましたが、本年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

これを受けて、全国大会に向け農業クラブ活動を頑張ってきた農業高校生を激励するため、農林水産大臣から全ての*日本学校農業クラブ連盟加盟校に対し、農業高校生の皆さまへの期待と応援を込めた「激励状」を发出することとなりました。

農林水産部では、沖縄県内5つの加盟校に「激励状」をお届けするとともに、去る9月9日、南部農林高等学校を訪問し、宮城香菜さん（沖縄県学校農業クラブ連盟会長）、大城哲也さん（南部農林高等学校農業クラブ会長）に直接お渡ししました。大城さんからは「全国大会の中止は残念ですが、学んだことを活かして社会に貢献できる人になりたい。」との発



右から 与那嶺校長、宮城さん、大城さん、池田経営課長

*日本学校農業クラブ連盟(Future Farmers of Japan)：全国の農業高校生で組織される団体

お問合せ先

農林水産部 経営課

☎098-866-11628



「新たな土地改良長期計画に関する 地方懇談会（沖縄ブロック）」を開催

本年8月27日、農林水産省と沖縄総合事務局は、「新たな土地改良長期計画に関する地方懇談会（沖縄ブロック）」を開催しました。

土地改良長期計画は、土地改良事業（農業の生産性向上を図るため、農地や農業水利施設などの農業生産基盤の整備・管理を行う）を計画的に実施するため、5年を1期として事業の目標及び事業量を定めるものです。本年6月から、「食料・農業・農村政策審議会」（農業農村整備部会）において、新たな長期計画の策定に向けた審議が開始されています。

地方懇談会は、地方の現場の関係者との意見交換を通じて、現場の実情や課題などについて認識を深めるとともに、そこで得られた提案や意見を今後の審議に活かすことを目的として開催するものです。沖縄ブロックで



地方懇談会の様子

は、農業経営者、農業関連団体、地方行政機関から計6人の関係者を代表としてお招きしました。

意見交換では、多面的機能支払交付金などによる農村の活性化に向けた支援や、かんがい施設の整備に関する要望が出されるなど、活発な議論が行われました。

お問合せ先

農林水産部 農村振興課

☎098-866-11652